

第2回 草津市南草津エリアまちづくり推進懇話会での意見および対応

〔第1回懇話会での質問に対する報告〕

発言者	意見（要旨）	回答	ビジョンへの反映案
A 委員	老上西学区において、草津市版地域再生計画と比較して都市計画マスタープランの令和22(2040)年の高齢化率の推計値が低すぎるのではないか。	◇それぞれ平成22(2010)年と平成27(2015)年と基準年が異なること、特別養護老人ホームなどが影響したことなどから、草津市版地域再生計画では高齢化率が39.2%となっていました。本計画では都市計画マスタープランの推計である28.0%を採用することとします。	—
A 委員	南草津エリアに学生はどれくらい住んでいるか。	◇立命館大学に通う学生のうち草津市における居住率は、約15,000人中約7,300人であり約49%となっています。	—

〔南草津エリアの課題について〕

発言者	意見（要旨）	回答	ビジョンへの反映案
1 副座長	課題①の低未利用地はどこを想定しているか。	◇山手幹線沿道、追分あたりを想定しています。	◇「基本方針③施策案ア.幹線道路沿道における企業誘致、産業振興の強化」
2-1 A 委員	立命館大学ではどれだけの施設を一般市民に開放されているのか。	◇大学施設は学生の教育の場が基本ですが、一部紹介しますとグラウンドでの地域の運動会やびわこ講座、スポーツ健康commonsもあります。スポーツ施設や知的財産にあたるものは一般の方にも活用できると思います。	◇「基本方針①施策案ア.立命館大学等の大学・企業等の地域に開かれた利活用の促進」
2-2 B 委員	イベントや地域住民の勉強の場など大学側の企画として大学施設を地域住民が利用することはよいと思うが、大学は権威ある場所であり、地域住民が気軽に行ける場所とすることはどうか。 また、駐車場も遠く車やバスで行きづらいと思う。	◇(武田座長)スポーツ健康commonsとして体育館やプールを正門前に設置されています。駐車場が遠いが、駐車場と体育館をつなぐ通りでは緑化やベンチ等を設置し、学生や地域の方が快適に過ごせる空間づくりに取り組んでいます。	◇「基本方針⑤施策案イ.通勤・通学等の利便性向上」
3 B 委員	もっと、南草津駅にピントをあわせ、周辺に地元の土産や野菜、米が購入できる場所の設置を、フェリエの活用を含め検討するべきではないか。	◇農産物に関しては、地域まちづくりセンターにおいて朝市を実施されているところもあります。滋賀県ではJAが大きく2つの組織に合併し他市町の農産物の取り扱いもできるようになり、協力していく仕組みづくりが必要であると考えます。	◇「基本方針⑤施策案イ.JR南草津駅周辺における魅力ある滞留・交流空間の創出」 ◇「基本方針④施策案カ.田園環境の保全と農業資源を活かした交流促進」
4 C 委員	滋賀医科大学としては、地域住民の方には医療人の育成や学びの場として大学に来ていただきたいと考えている。例えば、地域住民の方には模擬患者として協力いただくなど。	—	◇「基本方針①施策案ウ.大学、企業等との連携による地域活動・交流の促進」
5 副座長	学園祭等のイベントではどこまでを対象に開催案内を出しているか。	◇学園祭に関してはどなたでも参加可能ですが、学生の活動の発表や展示が主であり、参加者は	◇「基本方針①施策案ア.立命館大学等の大学・企業等の地域に開かれた利活用の

発言者	意見（要旨）	回答	ビジョンへの反映案
		大学関係者が大半といった印象があります。	促進」
6 D 委員	障がいをもった人でも施設や公共交通機関が利用でき、住みやすいまちづくりを進めることが課題だと思う。	◇草津市バリアフリー基本構想を策定し、取り組みを進めています。課題③においてウォーカブルなまちづくりを記載しており、障がい者も含め誰もが利用しやすい環境づくりが課題と認識しています。特別養護老人ホームなどの福祉施設は市街化調整区域においても立地できますが、高齢者施設やサービス付き高齢者住宅などは駅前がよいといった意見もあり、今後、調整していくことが必要です。	◇「基本方針⑤施策案ウ. JR南草津駅周辺におけるウォーカブルなまちづくりの推進」 ◇「基本方針⑤施策案エ. バリアフリー化事業の推進」
7-1 B 委員	南草津駅西口エリアの道路においては地元で管理されているが、東口エリアはあまり統一した管理がなされていないと感じる。 高齢者等に配慮した座れるスペースの確保や、バスを利用する多くの学生や社員が通るため、緑化や植樹を進めてほしい。	◇東口エリアの土地区画整理事業時は高度利用を優先させた土地利用がなされました。一方、西口エリアでは東口エリアでの成果を受け、高さを抑え、公園等の空間を確保した土地利用となり、当時の役員の方を中心に今でも草木の手入れなどのボランティアを実施されている状況です。	◇「基本方針⑤施策案イ. JR南草津駅周辺における魅力ある滞留・交流空間の創出」 ◇「基本方針⑤施策案エ. バリアフリー化事業の推進」 ◇「基本方針⑤施策案ケ. JR南草津駅周辺におけるまちなみ形成と情報発信機能の強化」
7-2 E 委員	JR西日本としても、各駅前広場については行政とともに協力して検討している。 広場はまちの玄関口であるというシンボリックな視点に加え、バリアフリーの整備を進めていくことを各行政と勉強している。	◇駅前はまちの顔となることから、潤いなどの雰囲気づくりは重要であると認識しています。 また、ベンチなどの設置は、スペースや費用対効果を考慮しつつも、本ビジョンに位置づけていきたいと考えています。	
8 E 委員	JR東日本では神奈川県川崎市に「コトニアガーデン新川崎」というエリアがあり、このエリアには商業施設、高齢者施設、保育施設、賃貸住宅があり、真ん中の広場を拠点に子どもからお年寄りまでが1つのエリアで生活でき、交流できるような空間づくりをしており、今後のまちづくりの参考になるのではないか。	—	◇「基本方針⑤施策案ア. 立地適正化計画における都市機能誘導施設の立地誘導」
9 E 委員	課題④における「公共交通の充実」については、は鉄道会社としてもありがたく感じる。	—	◇「基本方針⑤施策案ク. 地域や関係事業者と連携した円滑な交通ネットワークの確保」

発言者	意見（要旨）	回答	ビジョンへの反映案
10 A 委員	ウォーカブルなまちづくりに向け高齢者や子どもたちの安全を考慮すると、歩行者、自転車だけが通行できる歩車分離をすることも考えられる。	—	◇「基本方針⑤施策案ウ. JR南草津駅周辺におけるウォーカブルなまちづくりの推進」 ◇「基本方針⑤施策案オ. 自転車ネットワーク計画の推進」
11 A 委員	自家用車を運転できない方でも南草津駅を利用しやすいように、路線バスやまめバス等の公共交通の充実、コンパクトな路線検討が必要だと思う。	—	◇「基本方針⑤施策案ク. 地域や関係事業者と連携した円滑な交通ネットワークの確保」
12 F 委員	パナソニックでは新型コロナウイルスの影響により在宅勤務が増えており、会社としても経費メリットも出始めており推奨しているが、在宅勤務の就労環境に満足していない社員もあり、最寄り駅におけるコワーキングスペースやシェアオフィスの需要は高まるのではないかと。まちづくりにおいては駅周辺にどれだけの人を滞留させるかがポイントであり、例えば、駅周辺に子どもを預ける場所等があれば、女性が駅に滞留するようになるのではないかと。外国人を呼び込み、利用しやすくするための多様性についても、南草津駅を中心に進めていってはどうか。	—	◇「基本方針⑤施策案ア. 立地適正化計画における都市機能誘導施設の立地誘導」 ◇「基本方針⑤施策案イ. JR南草津駅周辺における魅力ある滞留・交流空間の創出」
13 B 委員	地域のボランティアなどはzoom等を活用できる部分が多いため、行政から利用方法の指導を行ってほしい。	—	—
14 F 委員	駅が学生にとって通過点として機能していないことが問題であり、駅に学生を滞留させること、駅前を学生のビジョンや価値観を発信の場として活用することはよいことだと思う。	—	◇「基本方針⑤施策案イ. JR南草津駅周辺における魅力ある滞留・交流空間の創出」 ◇「基本方針⑤施策案ケ. JR南草津駅周辺におけるまちなみ形成と情報発信機能の強化」

【基本方針（案）およびゾーニング（案）について】

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
15 G 委員	拠点を形成することで、拠点以外のエリアが衰退してしまうことを危惧している。地域まちづくりセンターに求める機能を教えてほしい。	◇南草津エリアにおいては、老朽化が進んだ老上、玉川、矢倉の地域まちづくりセンターの建て替えを検討しており、交流や滞	◇「基本方針④施策案エ. 地域まちづくりセンターの更新と地域再生拠点の形成」

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
		留ができるように農家レストランやコミュニティカフェの併設、防災拠点機能などを地域の意向も踏まえ検討してはどうかと考えています。	
16 B 委員	メインの幹線道路は民間のバス事業者が運行し、不足しているところをまめバスが補っている状況だが、一度白紙に戻し、東は南草津駅から大学や高速道路、南は総合病院やイオンなどを循環するバス路線の再構築に取り組んでほしい。 高齢者にもわかりやすく使いやすいルート設定や運行本数を検討してほしい。	—	◇「基本方針⑤施策案ク.地域や関係事業者と連携した円滑な交通ネットワークの確保」
17 H 委員	南草津エリアの農地がだんだん宅地化され、新規住民も増えている。 大学生だけでなく、若年層などの住民意見も取り入れてほしい。	—	◇「基本方針②施策案ア.立地適正化計画の居住誘導区域における良好な住環境形成」
18 B 委員	リモート授業、リモートワークはコスト面でメリットが出始め、新型コロナウイルスの影響を受け、今後も導入する動きが加速すると思うが、大学において集まって学ぶことに意味があり、まちがキャンパスになる、まちに育てられるという視点はこれからも重要だと考える。	—	◇「基本方針①施策案ウ.大学、企業等との連携による地域活動・交流の促進」
19 副座長	若いファミリー層が南草津エリアに増えても、その子どもたちが成長し、都心部で一人暮らしを始めるようになると、高齢者だけが残ることになる。次世代も住めるような、商業、医療などの地域拠点性を充実していくことが大切だと考える。	—	◇「基本方針④施策案エ.地域まちづくりセンターの更新と周辺における公共施設等の都市機能集積」
20 I 委員	道路整備よりもLRTやBRTなどの公共交通の充実について記載してはどうか。歩行者にとって魅力的な空間づくりも重要である。	—	◇「基本方針⑤施策案ウ.ＪＲ南草津駅周辺におけるウォーカブルなまちづくりの推進」 ◇「基本方針⑤施策案ク.地域や事業者と連携した円滑な交通ネットワークの確保」
21 I 委員	将来の駅周辺の高齢者の急速な増加に備え、子どもと高齢者の交流は昔からよいとされているので、相互に交流できる場を設けるべきだと思う。 大学生が地域で活躍することが必要であり、自発的な活動を助成するような制度を導入するべきである。	—	◇「基本方針①施策案ウ.大学、企業等との連携による地域活動・交流の促進」
22-1 J 委員	南草津エリアは自家用車が多く、渋滞が頻繁に起こっている。 自家用車を使わなくても駅に行けるような公共交通網の整備、また、バスの運賃については利用しやすい金額設定を検討してほしい。	—	◇「基本方針⑤施策案ク.地域や事業者と連携した円滑な交通ネットワークの確保」

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
22-2 I 委員	MaaS のような一定料金で公共交通機関を乗り放題にできるようなサービスを導入できれば、住んでいる地域に関係なくすべての住民を公平にカバーできる福祉的な視点も取り入れられると考える。 また、バスの運行時間については、JRに乗り継ぎしやすいように調整することが必要だと思う。		
23 J 委員	立命館大学は地域の防災拠点(避難所)として周辺住民を受け入れるのか。	—	◇「基本方針③施策案イ.草津PAと連携した防災道の駅の設置」